



建築科 第II回 茨城学生建築展

努力賞 矢吹 充

「自然の力で築く暮らし ～自然と暮らしをつなぐ多機能住宅～」

「努力賞」を受賞した「自然の力で築く暮らし」は、SDGsの観点から環境を意識した設計が評価されています。

自然の力で築く暮らし

自然と暮らしをつなぐ多機能住宅



動機

地方の特徴である、豊かな自然、静かな環境といった都市では得られない魅力を、自給自足の生活を通じて、地方のポテンシャルを最大限に活かし、地域での快適な暮らしを実現したいと考えたため。



2階平面図



1階平面図

南立面図

東立面図



コンセプト

今現在使われていない、私の亡くなった曾祖父の家を参考にした住宅設計は、パッシブデザインによって換気や断熱の明るさを最適化し、地元産の自然素材を用いて健康的で持続可能な空間を作り出します。
 また、自給自足の生活スタイルを取り入れることで、地方での生活の快適さを広め、地方の人口減少を抑制できる家を開発します。敷地内には農業用倉庫を備え、家庭菜園や小規模農業の実践を支援することで、生活と仕事のバランスを改善し、地方に定住する人々の増加を促進します。
 さらに、山水の利用や、敷地全体に樹木・花木・野草を取り入れた植栽、自然石を使った小径や囲炉裏スペースを設けることで、自然豊かで四季折々の変化を楽しむ環境を整え、自然との共生を実現します。
 曾祖父の家に息吹を吹き込むような温かみと伝統を大切に、家系の歴史や思い出を感じられる場所として、現代のライフスタイルに合わせて、昔の良さを引き継いで設計を回します。庭や内装にも、曾祖父が愛した植物や道具を取り入れ、家全体が時間を越えた調和を感じられる空間に仕上げます。

